

三びきのこぶた

■人形■

- ・大ぶた（長兄）
- ・中ぶた（次兄）
- ・ちいぶた（末弟）
- ・オオカミ

■背景■

- ・わらの家
- ・木の家
- ・レンガの家

■小道具■

- ・レンガ
- ・たんこぶ

■ オープニング ■



語り 「[舞台中央に立ち] 昔…三びきのぶたの兄弟がいました… [と
いいながら三びきを並べていく] 一番年上の大ぶた…二番目の中ぶた…
一番小さいちいぶたです…兄弟は自分たちの家を作ることになりました
… [以下、セリフのあるぶたを動かしながら]

長兄 「ぼくはわらの家にする…軽くて作るの簡単だからね」

次兄 「ぼくは木の家だ…木は暖かいし、ペンキで色をぬってかわい
くするんだ」

末弟 「ぼくは丈夫なレンガの家がいいとおもうなあ…ずっと住むん
だからね」

長兄 「でも早くできる方がいいよ…わらが一番さ」

次兄 「きれいなのは木の家だよ…ペンキを塗って窓には植木鉢を置
くんだ…」

長兄 「わらが早くていいの [と次兄をみる]

v. 2.1

次兄 「なんだいわらの家なんか [と長兄をみる]

長兄 「なんだよう [近づき次兄をにらむ]

次兄 「なにさ [長兄をにらむ]

末弟 「[間に入って] まあまあ兄さんたちけんかしないで…それより早く家をつくろうよ」

長兄 「よーし…家ができれば比べっこしよう

次兄 「いいとも…そうしよう」

こぶた達 「それじゃあ…家づくりに…レッツゴー [こぶた達が下手に入る]



語り 「こぶた達の話を知っていたのがオオカミです [と上手からオオカミを出して]

オオカミ 「聞いたぞ…聞いたぞ…こぶた達が家を作るんだと…俺って悪い子ちゃんだからね…だれかが一生懸命作ったものは何でもすぐにこわしたくなるんだよ…家をぶっ壊してそれからこぶた達を晩ご飯にいただく…そうしましょったら そうしましょ…さっそく後をつけて行こう…見てろよ… [と下手に入る]

■ わらの家 ■

語り 「[中央にわらの家と大ぶたを出す] 大ぶたはわらの家をつくりました…」

長兄 「できた できた…わらの家あつという間にできちゃった [家に入ると上手からオオカミ]

オオカミ 「[ドアをたたいて] こんにちは こんにちは」

長兄 「はい どなたですか？」

オオカミ 「私は森のオオカミちゃんですよー…立派な家が出来たようなのでちょっとお邪魔をしようと思ってね…」

長兄 「オオカミだって？それじゃあ入れてあげないよ [きっぱり]

オオカミ 「なにい…入れてくれない？それならこんな家おれの鼻息で吹っ飛ばしてやる…それフーッと吹いてプーッと吹いてフーッ」

長兄 「[家がこわれて一瞬オオカミと対面] キャーッ [とジャンプしてから上手に逃げる]



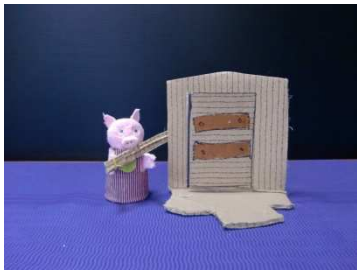


オオカミ「おや…逃げられたか…まだ2匹いるぞ[オオカミ下手に去る]」

■ 木の家 ■

語り 「[わらの家をどかして] オオカミは大ぶたのいえを吹き飛ばしてしまいました…さて… [中央に木の家と中ぶたを出す] 中ぶたは木の家を作りました…」

次兄 「よーし組み立ては終わり ぼくの素敵な木のお家…あとはペンキをぬればできあがりー ではちょっと一休み… [家に入ると上手からオオカミ]」



オオカミ 「[ドアをたたいて] こんにちは こんにちは」

次兄 「はい どなたですか？」

オオカミ 「私は森のオオカミちゃんですよー…立派な家が出来たようなのでちょっとお邪魔をしようと思ってね…」

次兄 「オオカミだって？それじゃあ入れてあげないよ [きっぱり]」

オオカミ 「なにい…入れてくれない？それならこんな家おれの鼻息で吹っ飛ばしてやる…それフーッと吹いてプーッと吹いてフーッと [倒れないので] フン…わらの家よりは丈夫なようだな…ではこれならどうだ…それフーッと吹いてプーッと吹いてフーッと…」



次兄 「[家がこわれて一瞬オオカミと対面] キャーッ [とジャンプし上手に逃げる]」

オオカミ 「おや…また逃げられたか…でもまだもう1匹いるぞ [オオカミ下手に去る]」



■ れんがの家 ■

司会 「[木の家をどかして] こうしてオオカミは中ぶたの家も壊してしまいました…さて… [中央にれんがの家とちいぶたを出す] ちいぶたはレンガの家を作りました…」

末弟 「できたできた…重いれんがを積んで丈夫な家を作ったぞ…これなら台風が来ても大丈夫…部屋の中を片付けて兄ちゃんたちを呼ぼうかな… [上手から長兄と次兄が登場]」

長兄 「おーい…ちいちゃん…呼ばれないけど来ちゃったよ…ぼく



v. 2.1



たちの家 オオカミに吹き飛ばされちゃったんだ…助けてーっ」
末弟 「それは大変…さあ早く入って入って [三匹家の中へ入ると上手からオオカミ登場して]

オオカミ 「おう…今度はレンガの家か…こいつは丈夫そうだな…どれ…
[ドアをたたいて] こんにちは こんにちは」

末弟 「はい どなたですか？」

オオカミ [私は森のオオカミちゃんですよ…立派な家が出来たようなのでちょっとお邪魔をしようと思ってね…]

末弟 「オオカミだって？それじゃあ入れてあげないよ [きっぱり]

オオカミ 「なにい…入れてくれない？それならこんな家おれの鼻息で吹っ飛ばしてやる…それフーッと吹いてプーッと吹いてフーッと倒れないので] ウーン…こいつは手ごわいぞ…ではこれならどうだ…」 それフーッと吹いてプーッと吹いてフーッと…だめか…それなら体当たりドーン…うわーっ [ドアに体当たりしてひっくり返る] だめだぁ…頑丈なカギがかかっている [といいながら家の横へ回ると窓が少し開いているのを見つけて] おや…まどはカギがかかっていない…これならどうだーっ [頭から窓に突っ込む]



三びき 「うわーっ 逃げろー… [といいながらドアから飛び出して中央に集まる]

次兄 「どうしよう…」

末弟 「[レンガを持って] このレンガを使ってオオカミをやっつけよう…みんなで屋根にのぼるんだ…」

語り 「こうして…三びきは助け合って屋根までのぼると… [と三びきを屋根に乗せて] 今度は煙突の上に [といいながら] 大ぶた…その上に中ぶた…一番上にちいぶたの順に乗りました… [おや？…オオカミが窓から出てきましたよ]

オオカミ 「[窓から抜け出て] 何だそんなところに逃げたのか…」

末弟 「オオカミさん…ここまでおいでー」

オオカミ 「変な所に逃げたな…待ってるよ…いわれなくてもすぐに登って食べてやる [といいながら登る…] …どれ…一番下のブタか



v. 2.1

らいただくとするかな… [と近づいたところで…]

末弟 「えーい これでもくらえーっピューン [と一番上から末弟が
れんがを投下…オオカミに命中]

オオカミ「うぁーっ [と屋根から転がり落ちる…頭にたんこぶを付けて]
いたたたた… [こぶをみせて] こんなたんこぶができちゃった
…これはたまらん…もうたくさんだー こぶたなんか大嫌いだ
ーっ [とオオカミ上手に逃げ去る]

三びき 「[屋根の上で] やったー…悪いオオカミをやっつけたぞ…」

司会 「オオカミは二度とこぶた達のところへはあらわれませんでした。
そして、三匹のこぶたはそれからずーとなかよくくらし
ました…おしまい [煙突から<おしまい>の文字幕を出す]



■ 上演ノート ■

- 🚩 劇団オンサンタのテーブルシアターは進行役を兼ねる語り手が一人
で演じることができます (もちろん複数でも…)
- 🚩 お話を語りながら、人形を動かすイメージです
- 🚩 セリフのある人形だけを動かします
- 🚩 オオカミとこぶたのこぶたとのやりとりは敢えて同じ調子で繰り返
しましょう
- 🚩 人形・大道具の基本的な作り方は劇団ホームページの<工房>
<http://on-santa.com/studio.html> にあります